

# 取り組み事例

## 【地区名】 能勢町栗栖地区(担い手への集積・集約)

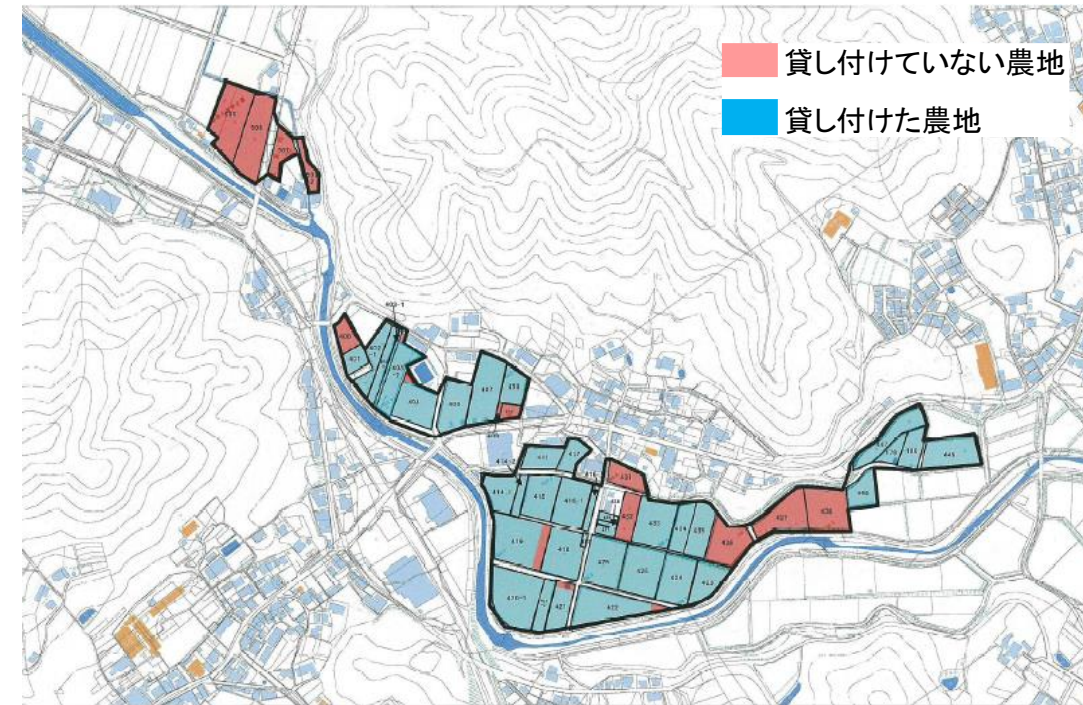
### 【地区の特徴・取組のポイント】

- 水稻を栽培しているほ場整備済み農地 8.8ha
- 能勢町、大阪府、機構により、事業推進に向けた協議が行われ、町により地区内の話し合いの場が設置され、人農地プランが策定された。
- 担い手は能勢町内の地区外の国版認定農業者。かねてから水稻栽培の経営規模拡大を目指して農地を探していた。
- 機構により物納での取り扱いを初めて導入。

### 【取り組みによる成果】

担い手1名へ6.6haを集積。(集積率75%)

町内で取り組みが広まり、さらなる集積・集約化への発展が期待される。



担い手への集積(青色の農地)

# 取り組み事例

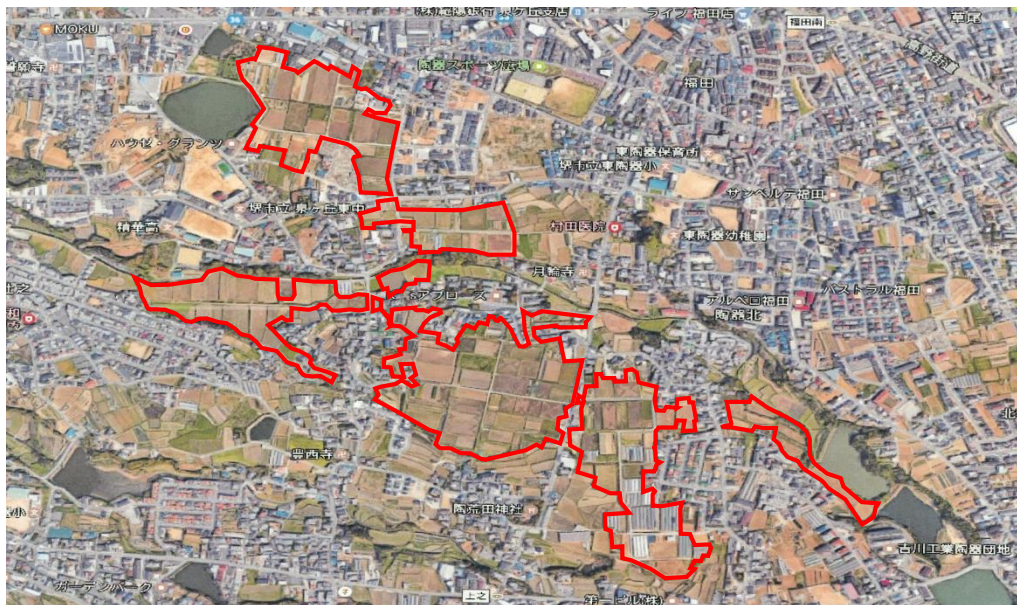
## 【地区名】 堺市中区陶器北地区(担い手への集積)

### 【地区の特徴・取組のポイント】

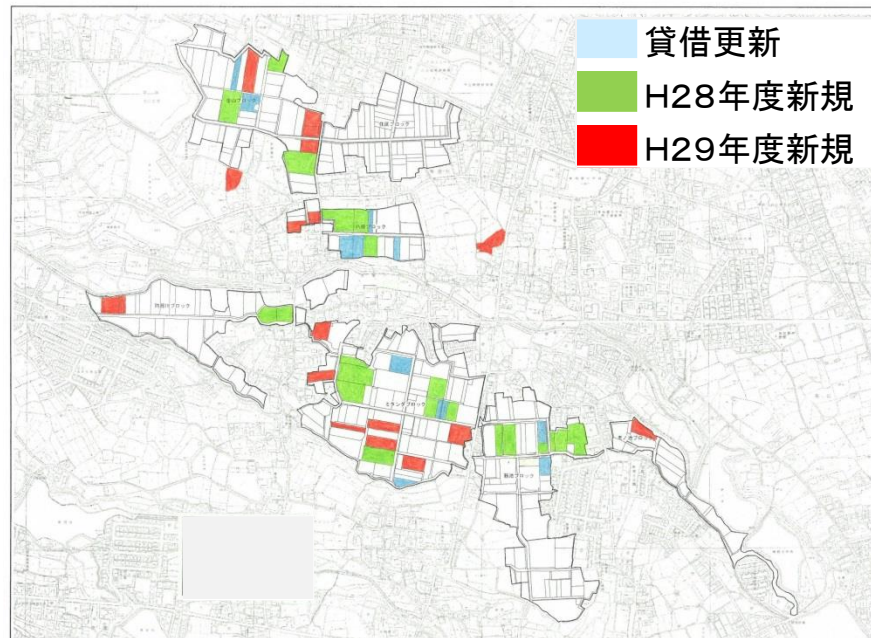
- 市街地に近接し、優良農地が広がっている。
- ほ場整備済み農地 26.6ha
- 2年目は、理事長及び役員から積極的な協力体制が構築済み
- 集落での話し合いが進み、今後は人・農地プランの作成を視野に入れ検討。

**【取り組みによる成果】**

地区全体で6.7haを集積。  
 地域内で取り組みが広まり、さらなる集積・集約化への発展が期待される。



市街地と近接した農地



貸借を行った農地(着色部)

# 取り組み事例

## 【地区名】 羽曳野市駒ヶ谷地区（個人の新規参入）

### 【地区の特徴・取組のポイント】

- ぶどう栽培が盛んであったが、近年担い手が減少
- 農家や行政で組織する羽曳野市ぶどう就農促進協議会の会長である農の匠のもとで、2年間研修を受けたのち独立。
- ブドウ産地を守る後継者として、地域の中で期待されており、数品種のブドウを栽培していく予定。

### 【取り組みによる成果】

市や農の匠の働きかけで研修先の農地と隣接した農地0.3haを借受け、今後規模拡大を目指す。



営農状況